

君津市防災備蓄倉庫個別施設計画

令和3年3月

君津市

目 次

第1章 防災備蓄倉庫個別施設計画の背景及び目的等	1
1 背景及び目的	1
2 計画期間	1
3 対象施設	2
第2章 防災備蓄倉庫の現状と目指すべき姿	5
1 設置目的・利用状況の実態	5
2 利用状況の実態を踏まえた目指すべき姿	6
第3章 防災備蓄倉庫の状況	7
1 老朽化の実態	7
2 老朽化状況の実態を踏まえた課題	10
第4章 対策の優先順位の考え方	11
1 対策の優先順位の考え方	11
2 対策の優先順位	11
第5章 防災備蓄倉庫の今後の基本方針	12
1 公共施設の今後の考え方	12
2 機能・施設の方向性	13
3 改修の方針	16
第6章 防災備蓄倉庫の事業化の見込み	17
1 事業化の見込み	17
第7章 個別施設計画の推進	20
1 推進体制等	20

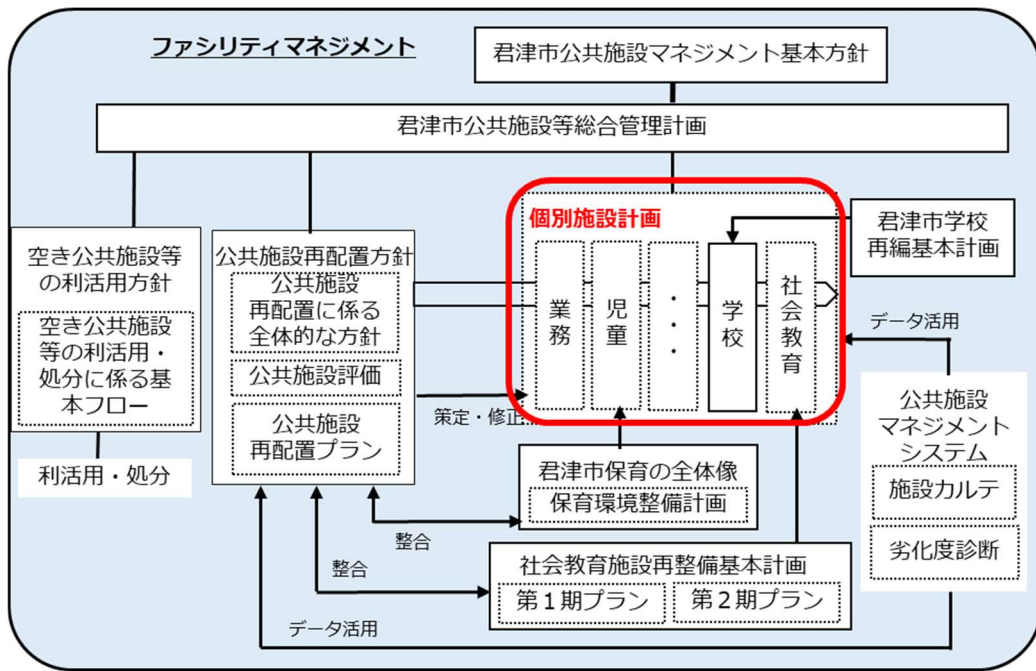
第 1 章 防災備蓄倉庫個別施設計画の背景及び目的等

1 背景及び目的

個別施設計画は、君津市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、劣化度診断調査によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や事業見込みを定めるものであり、国のインフラ長寿命化基本計画(平成25年11月策定)に準じ、策定する計画となる。

個別施設計画に基づき、戦略的な維持管理・更新等を行い、「質」、「量」、「財政負担」の最適化を図ることにより、需要に合った、ムダのない、持続可能な公共施設の管理を目指す。

図表 1 個別施設計画の位置づけ



2 計画期間

計画期間は、総合管理計画の計画期間に合わせ、計画策定から令和28年度までとする。

ただし、社会情勢の変化、地域の人口構成やニーズの変化、事業の進捗状況に対応するため、原則5年を目安に見直しを行うこととし、君津市総合計画(以下「総合計画」という。)及び公共施設再配置方針等と整合、連携を図るため、必要に応じて適宜内容の見直しを行う。

3 対象施設

計画の対象施設は、以下の施設とする。

整理番号	施設名	所在地	管理運営形態	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	地図番号
191	防災備蓄倉庫 (久留里スポーツ広場敷地内)	久留里市場 368-1	直営	—	100.80	1
192	防災備蓄倉庫 (大和田小学校敷地内)	大和田 425	直営	—	9.60	2
193	防災備蓄倉庫 (北子安小学校敷地内)	北子安 853	直営	—	9.60	3
194	防災備蓄倉庫 (外箕輪小学校敷地内)	外箕輪 1-34-1	直営	—	9.60	4
195	防災備蓄倉庫 (周南小学校敷地内)	宮下 2-25-5	直営	—	9.60	5
196	防災備蓄倉庫 (小糸小学校敷地内)	大井戸 1061	直営	—	9.60	6
197	防災備蓄倉庫 (南子安小学校敷地内)	南子安 5-10-1	直営	—	9.60	7
198	防災備蓄倉庫 (貞元小学校敷地内)	上湯江 1655	直営	—	9.60	8
199	防災備蓄倉庫 (久留里小学校敷地内)	久留里 474	直営	—	9.60	9
200	防災備蓄倉庫 (南子安保育園敷地内)	南子安 3-27-1	直営	—	9.60	10
201	防災備蓄倉庫 (小櫃小学校敷地内)	俵田 1416	直営	—	9.60	11
202	防災備蓄倉庫 (松丘小学校敷地内)	広岡 1000	直営	—	9.60	12
203	防災備蓄倉庫 (旧秋元小学校敷地内)	西栗倉 35	直営	—	9.60	13
204	防災備蓄倉庫 (塚田公園敷地内)	西坂田 2-11	直営	—	9.60	14

整理番号	施設名	所在地	管理運営形態	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	地図番号
205	防災備蓄倉庫 (旧亀山中学校敷地内)	坂畑 223-1	直営	—	9.60	15
206	防災備蓄倉庫 (八重原中学校敷地内)	三直 1305	直営	—	9.60	16
207	防災備蓄倉庫 (旧蔵玉小学校敷地内)	蔵玉 1052	直営	—	9.60	17
208	防災備蓄倉庫 (旧三島小学校敷地内)	正木 149	直営	—	9.60	18
209	防災備蓄倉庫 (君津中央公園敷地内)	久保 5-1-1	直営	—	168.00	19
210	防災備蓄倉庫 (周西小学校敷地内)	中野 3-14-1	直営	—	60.00	20
211	防災備蓄倉庫 (鹿野山自治会館敷地内)	鹿野山 324-5	直営	—	9.60	21
212	防災備蓄倉庫 (生涯学習交流センター内)	久保 2-13-2	直営	—	60.00	22
213	防災備蓄倉庫 (上総小櫃中学校敷地内)	俵田 1110	直営	—	9.60	23
214	防災備蓄倉庫 (八重原小学校敷地内)	南子安 9-17-1	直営	—	9.60	24
215	防災備蓄倉庫 (中小学校敷地外)	中島 700-4	直営	—	70.60	25
216	防災備蓄倉庫 (周西中学校敷地内)	坂田 560	直営	—	9.60	26
217	防災備蓄倉庫 (周東中学校敷地内)	塚原 120	直営	—	9.60	27
218	防災備蓄倉庫 (周南中学校敷地内)	宮下 1-4-1	直営	—	9.60	28
219	防災備蓄倉庫 (周西南中学校敷地内)	中野 2-30-1	直営	—	9.60	29

整理番号	施設名	所在地	管理運営形態	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	地図番号
220	防災備蓄倉庫 (周西公民館敷地内)	人見 4-11-21	直営	—	9.60	30
221	防災備蓄倉庫 (清和小学校内)	東日笠 522	直営	—	7.20	31
222	防災備蓄倉庫 (周南公民館敷地内)	大山野 26	直営	—	9.60	32
223	防災備蓄倉庫 (小糸公民館敷地内)	糠田 55	直営	—	9.60	33
224	防災備蓄倉庫 (旧香木原小学校体育館内)	香木原 269	直営	—	6.00	34
225	防災備蓄倉庫 (小櫃公民館敷地内)	末吉 128	直営	—	9.60	35
226	防災備蓄倉庫 (市民体育館建物内)	内箕輪 1-1	直営	—	29.60	36
227	防災備蓄倉庫 (神門公園敷地内)	人見 1154-1	直営	—	60.00	37

第2章 防災備蓄倉庫の現状と目指すべき姿

1 設置目的・利用状況の実態

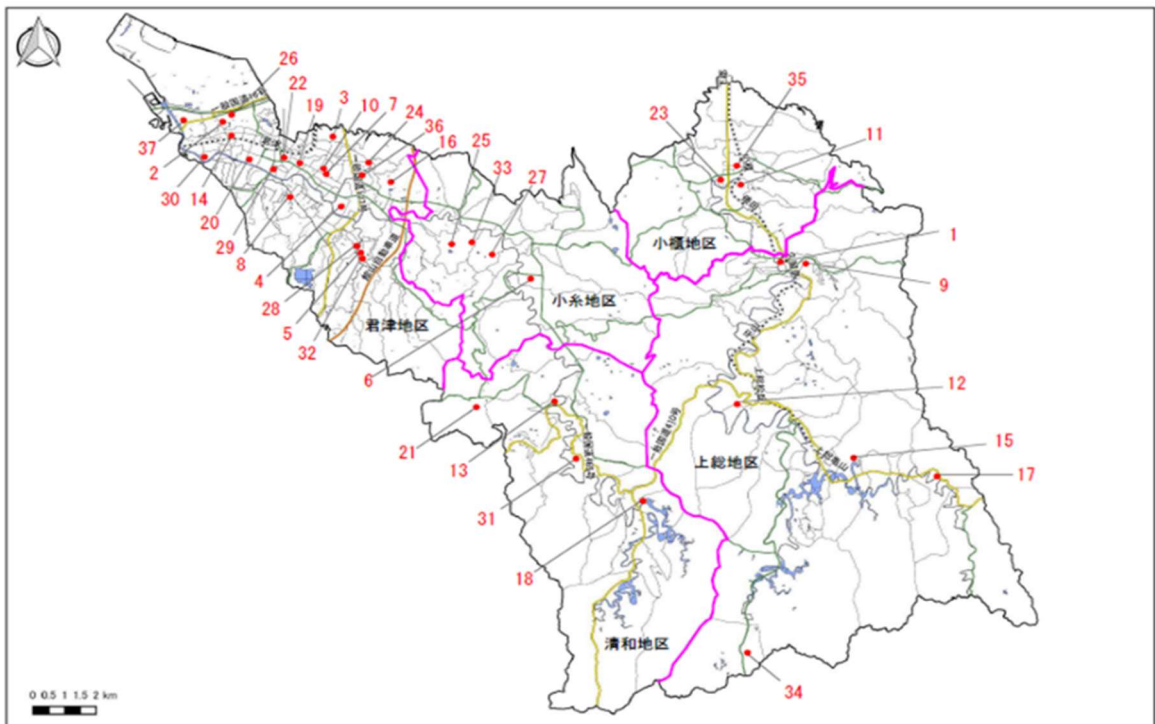
(1) 設置目的

防災備蓄倉庫は、災害時に必要となる備品等を事前に準備しておくための倉庫で、避難場所や避難所等、災害時の活動拠点となる場所に適正に配置・設置することにより、人命救助、避難所開設及び支援物資の提供等の初動活動を迅速・円滑に展開することができ、市民の命及び財産を守るとともに、地域防災力の向上に資することを目的とする。

(2) 関係法令、条例等

- ・ 災害対策基本法第四十九条
(防災に必要な物資及び資材の備蓄等の義務)
- ・ 地域防災計画 (第1 防災拠点の整備・第2 備蓄体制の整備)

(3) 配置状況 (防災備蓄倉庫)



※1 第1章、3 対象施設の地図番号を参照

(4) 利用状況

職員による定期点検（年2回程度）を実施しており、避難所開設（準備）時に必要な資機材等を準備するため、利用している。

令和2年度は、避難所開設や準備で担当者による利用回数は2回（第1・第2優先避難所の21箇所）である。過去5年間の利用回数までは把握できていない。

(5) 防災備蓄倉庫施設のコスト

災害等による損傷等を受けた場合の維持補修費が想定される。

図表1 施設関連経費の推移（例：中小学校防災備蓄倉庫） 単位：円

年度	光熱水費	電話代	委託料	その他物件費	維持補修費
2018	2,712				
2017	2,712				
2016					
2015					
2014					
合計	5,424				

経費で光熱水費が発生する防災備蓄倉庫は、大型倉庫の3箇所である。

内訳：整理番号191 防災備蓄倉庫（久留里スポーツ広場敷地内）

整理番号210 防災備蓄倉庫（周西小学校敷地内）

整理番号215 防災備蓄倉庫（中小学校敷地内）

2 利用状況の実態を踏まえた目指すべき姿

避難所開設時における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、備蓄品が大幅に増加しており、収納スペースが不足している（新型コロナウイルス感染症対策の物品を優先し、食料品等については、防災備蓄倉庫から撤去している。）。

そのため、最低でも、第1・第2避難所（21箇所）については、現状と同程度（床面積9.6㎡程度）の防災備蓄倉庫が各2基ずつとなるよう、拡充を検討している。

第3章 防災備蓄倉庫の状況

1 老朽化の実態

(1) 劣化度診断調査の方法

屋根・屋上、外壁は目視により、内部仕上げ及び電気設備・機械設備は、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に、A・B・C・Dの4段階で評価を行った。

【目視による評価（屋根・屋上、外壁）】

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化がみられるが、安全上、機能上、問題なし
C	広範囲に劣化がみられ、安全上、機能上、低下の兆しあり
D	劣化の程度が大きく、安全上、機能上、早急な対応が必要

【経過年数による評価（内部仕上げ、電気設備、機械設備）】

評価	基準
A	新築後又は改修後10年未満
B	新築後又は改修後10年以上20年未満
C	新築後又は改修後20年以上40年未満
D	新築後又は改修後40年以上

(2) 劣化度診断調査結果

評価結果及び総合劣化度（※）は以下のとおり。

建築年数が30年以上経過している防災備蓄倉庫2箇所は、大規模な改修が実施されていないため、防災備蓄倉庫（旧香木原小学校体育館内）において内装の劣化や老朽化が見られるが、雨漏りなどは見られない。

図表2 防災備蓄倉庫の老朽化状況

整理番号	施設名	総合劣化度	築後年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上
191	防災備蓄倉庫(久留里スポーツ広場敷地内)	73.33	24	C	D	C
192	防災備蓄倉庫(大和田小学校敷地内)	60.00	22	C	C	C
193	防災備蓄倉庫(北子安小学校敷地内)	60.00	22	C	C	C
194	防災備蓄倉庫(外箕輪小学校敷地内)	60.00	22	C	C	C

整理番号	施設名	総合劣化度	築後年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上
195	防災備蓄倉庫(周南小学校敷地内)	60.00	22	C	C	C
196	防災備蓄倉庫(小糸小学校敷地内)	60.00	22	C	C	C
197	防災備蓄倉庫(南子安小学校敷地内)	60.00	21	C	C	C
198	防災備蓄倉庫(貞元小学校敷地内)	60.00	21	C	C	C
199	防災備蓄倉庫(久留里小学校敷地内)	60.00	21	C	C	C
200	防災備蓄倉庫(南子安保育園敷地内)	60.00	21	C	C	C
201	防災備蓄倉庫(小櫃小学校敷地内)	60.00	21	C	C	C
202	防災備蓄倉庫(松丘小学校敷地内)	60.00	21	C	C	C
206	防災備蓄倉庫(八重原中学校敷地内)	55.00	14	C	B	C
203	防災備蓄倉庫(旧秋元小学校敷地内)	40.00	20	B	B	B
204	防災備蓄倉庫(堺田公園敷地内)	40.00	19	B	B	B
205	防災備蓄倉庫(旧亀山中学校敷地内)	40.00	18	B	B	B
207	防災備蓄倉庫(旧蔵玉小学校敷地内)	40.00	13	B	B	B
208	防災備蓄倉庫(旧三島小学校敷地内)	40.00	13	B	B	B
210	防災備蓄倉庫(周西小学校敷地内)	40.00	12	B	B	B
211	防災備蓄倉庫(鹿野山自治会館敷地内)	40.00	12	B	B	B
212	防災備蓄倉庫(生涯学習交流センター内)	40.00	12	B	B	B
213	防災備蓄倉庫(上総小櫃中学校敷地内)	40.00	11	B	B	B
221	防災備蓄倉庫(清和小学校内)	40.00	49	B	B	B
209	防災備蓄倉庫(君津中央公園敷地内)	20.00	13	A	A	A
214	防災備蓄倉庫(八重原小学校敷地内)	20.00	9	A	A	A
215	防災備蓄倉庫(中小学校敷地外)	20.00	9	A	A	A
216	防災備蓄倉庫(周西中学校敷地内)	20.00	8	A	A	A
217	防災備蓄倉庫(小糸中学校敷地内)	20.00	8	A	A	A
218	防災備蓄倉庫(周南中学校敷地内)	20.00	8	A	A	A
219	防災備蓄倉庫(周西南中学校敷地内)	20.00	7	A	A	A
220	防災備蓄倉庫(周西公民館敷地内)	20.00	7	A	A	A
222	防災備蓄倉庫(周南公民館敷地内)	20.00	5	A	A	A
223	防災備蓄倉庫(小糸公民館敷地内)	20.00	5	A	A	A
224	防災備蓄倉庫(旧香木原小学校体育館内)	100.00	55	D	D	D
225	防災備蓄倉庫(小櫃公民館敷地内)	20.00	4	A	A	A
226	防災備蓄倉庫(市民体育館建物内)	100.00	37	D	D	D

整理番号	施設名	総合劣化度	築後年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上
227	防災備蓄倉庫(神門公園敷地内)	20.00	3	A	A	A

※各部位ごとのA・B・C・Dを評価


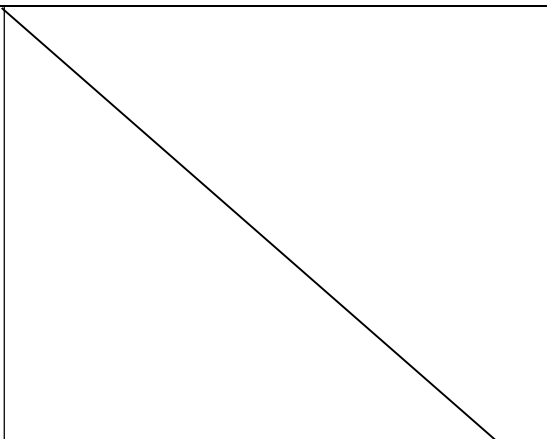
A : 10点 B : 20点 C : 30点 D : 50点

※総合劣化度=劣化度の合計点/劣化度の最大値×100


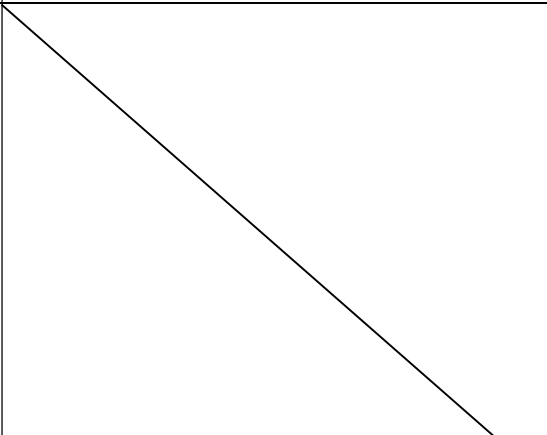
○写真

防災備蓄倉庫(旧香木原小学校体育館内)

	
外観①	外観②
	
入口	内部

	
<p>天井</p>	

防災備蓄倉庫(市民体育館建物内)

	
<p>入口</p>	<p>内部①</p>
	
<p>内部②</p>	

2 老朽化状況の実態を踏まえた課題

既存施設の一室を利用している倉庫については、施設全体の整備計画と整合性を図る必要がある。その他の倉庫について、特筆すべき課題はない。

第4章 対策の優先順位の考え方

1 対策の優先順位の考え方

公共施設を計画的に維持管理していくためには、適切な対策を実施する必要がある。

しかし、本市の財政状況を考慮すると、すべてに対応できる財政的な余力はなく、一定程度の判断基準を設定し、優先すべき対策の検討や決定を行う必要がある。そのための判断基準として、公共施設の安全性、機能性、経済性、社会性の他、利用状況や劣化度等の観点から総合的に判断を行う。

ただし、すでに利用されている公共施設において、安全性が損なわれている施設や機能性が低下している施設は、優先的に対策を実施する。

【対策の優先順位の考え方】

視点	判断内容
安全性	災害時や現状のまま放置しておく利用者に対して、直接又は間接に、人的及び物理的被害を及ぼす恐れがあるもの (例：消防設備の不備、部材等の落下)
	施設及び敷地において、悪影響を及ぼす恐れがあるもの (例：機器故障による異音)
	改修により施設の長寿命化・耐震化・機能改善が見込まれるもの (例：屋根防水の改修、外壁塗装、亀裂補修等、躯体の構造的強度の低下防止のための改修)
機能性	設置当初の要求事項が満たせなくなったもの (例：漏水・雨漏り、設備機器の故障等による停止)
経済性	予防保全によるライフサイクルコストの低減が見込まれるもの (例：早期対応により、損害の拡大・費用増大を防止できるもの)
社会性	住民・利用者や社会のニーズの変化により、利用者満足度を満たせなくなったもの (例：LEDへの交換、バリアフリー、省エネルギー化等)

2 対策の優先順位

劣化度診断調査の結果、総合劣化度が60.00以上で、かつ施設を継続する必要性が高い施設は、大規模改修・建替え等にかかる費用を踏まえ、建物として保有する必要性を検討した上で、大規模改修や建替え等を早期に実施する。

一方、調査の結果、総合劣化度が60.00以上の施設で、施設を継続する必要性が低い施設は、原則として建替えを行わず、建物として保有するかを検討し、必要に応じ修繕を行う。また、保有しないと判断した場合、機能の維持について必要性を検討し、集約化あるいは統合、施設の除却等を進める必要がある。

第5章 防災備蓄倉庫の今後の基本方針

1 公共施設の今後の考え方

公共施設の方向性を以下のように定義し、各施設の方向性を示します。

用語	説明
機能の方向性	
継 続	公共施設が持つ機能を継続します。
集約化	公共施設が持つ機能が同じ場合、機能を集約化し、現在のニーズに合った機能規模に最適化します。
統 合	目的が異なる公共施設が持つ機能が類似している場合、機能を統合し、現在のニーズに合った機能規模に最適化します。
廃 止	公共施設が持つ機能を廃止します。
民営化	民間の活力を活かし、指定管理者や民営化をします。
施設の方向性	
除 却	機能の廃止等に伴い、不要となった施設を取り壊します。
売 却	機能の廃止等に伴い、不要となった施設を売払います。
改 修	施設の長寿命化を目的とした中規模改修や大規模改修を行います。
建替え	老朽化した施設を取り壊し、建て替えます。
譲 渡	施設を無償で譲渡します。
転 用	施設の用途を異なる用途に変更し、機能に合わせた改修を行い、利用します。
複合化	異なる機能を持つ施設を1つの施設にまとめる改修を行い、効率や利便性を向上させます。
広域化	近隣の地方公共団体と施設を共同設置や相互利用することで、施設の整備、維持管理費などの費用を軽減します。

2 機能・施設の方向性

利用状況や総合劣化度を踏まえ、今後は以下のとおり実施する。

整理番号	施設名	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	使用 年数	耐用 年数	耐震		総合 劣化度	機能の 方向性	施設の 方向性
							診断	補強			
191	防災備蓄倉庫 (久留里スポーツ広場敷地内)	100.80	鉄筋 コンクリート	H8	24	38	新耐震	不要	73.33	継続	改修
192	防災備蓄倉庫 (大和田小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H10	22	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
193	防災備蓄倉庫 (北子安小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H10	22	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
194	防災備蓄倉庫 (外箕輪小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H10	22	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
195	防災備蓄倉庫 (周南小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H10	22	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
196	防災備蓄倉庫 (小糸小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H10	22	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
197	防災備蓄倉庫 (南子安小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H11	21	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
198	防災備蓄倉庫 (貞元小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H11	21	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
199	防災備蓄倉庫 (久留里小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H11	21	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
200	防災備蓄倉庫 (南子安保育園敷地内)	9.60	鉄骨造	H11	21	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
201	防災備蓄倉庫 (小櫃小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H11	21	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
202	防災備蓄倉庫 (松丘小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H11	21	31	新耐震	不要	60.00	継続	期間外 (建替え)
203	防災備蓄倉庫 (旧秋元小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H12	20	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
204	防災備蓄倉庫 (塚田公園敷地内)	9.60	鉄骨造	H13	19	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
205	防災備蓄倉庫 (旧亀山中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H14	18	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
206	防災備蓄倉庫 (八重原中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H18	14	31	新耐震	不要	55.00	継続	期間外 (建替え)
207	防災備蓄倉庫 (旧蔵玉小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H19	13	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
208	防災備蓄倉庫 (旧三島小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H19	13	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
209	防災備蓄倉庫 (君津中央公園敷地内)	168.00	鉄筋 コンクリート	H19	13	38	新耐震	不要	20.00	継続	改修
210	防災備蓄倉庫 (周西小学校敷地内)	60.00	鉄骨造	H20	12	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)

整理番号	施設名	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	使用 年数	耐用 年数	耐震		総合 劣化度	機能の 方向性	施設の 方向性
							診断	補強			
211	防災備蓄倉庫 (鹿野山自治会館敷地内)	9.60	鉄骨造	H20	12	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
212	防災備蓄倉庫 (生涯学習交流センター内)	60.00	鉄筋 コンクリート	H20	12	50	—	—	40.00	継続	施設全体の 方向性に準 ずる
213	防災備蓄倉庫 (上総小櫃中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H21	11	31	新耐震	不要	40.00	継続	期間外 (建替え)
214	防災備蓄倉庫 (八重原小学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H23	9	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
215	防災備蓄倉庫 (中小学校敷地外)	70.60	鉄骨造	H23	9	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
216	防災備蓄倉庫 (周西中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H24	8	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
217	防災備蓄倉庫 (周東中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H24	8	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
218	防災備蓄倉庫 (周南中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H24	8	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
219	防災備蓄倉庫 (周西南中学校敷地内)	9.60	鉄骨造	H25	7	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
220	防災備蓄倉庫 (周西公民館敷地内)	9.60	鉄骨造	H25	7	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
221	防災備蓄倉庫 (清和小学校内)	7.20	鉄筋 コンクリート	S46	49	47	—	—	40.00	継続	施設全体の 方向性に準 ずる
222	防災備蓄倉庫 (周南公民館敷地内)	9.60	鉄骨造	H27	5	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
223	防災備蓄倉庫 (小糸公民館敷地内)	9.60	鉄骨造	H27	5	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
224	防災備蓄倉庫 (旧香木原小学校体育館内)	6.00	木造	S40	55	34	—	—	100.00	継続	施設全体の 方向性に準 ずる
225	防災備蓄倉庫 (小櫃公民館敷地内)	9.60	鉄骨造	H28	4	31	新耐震	不要	20.00	継続	期間外 (建替え)
226	防災備蓄倉庫 (市民体育館建物内)	29.60	鉄骨鉄筋 コンクリート	S58	37	47	—	—	100.00	継続	施設全体の 方向性に準 ずる
227	防災備蓄倉庫 (神門公園敷地内)	60.00	鉄筋 コンクリート	H29	3	47	新耐震	不要	20.00	継続	改修

※構造は、代表建物の建物構造。

※建築年度及び使用年数は、代表建物の年数。

(1) 機能の方向性

災害対応上、必要不可欠な施設であり、性質上、民営化は適さない。

迅速な対応のためには、各避難所の近くにあることが望ましい施設であるため、集約化や統合も適さない。

以上のことから、「継続」とする。

(2) 施設の方向性

災害対応上、必要不可欠な施設であり、不足している状況でもあるため、除却・売却・譲渡・転用は不適當。

既存施設を利用するという意味では、複合化の可能性もあるが、備蓄スペースは不足している状況であるため、独立型の倉庫を廃止し、既存施設を利用するのは非効率的。

迅速な対応のためには、各避難所の近くにあることが望ましく、集約化や統合が適さない施設であるため、広域化も適さない。

鉄筋コンクリート造ではない場合、長寿命化工事（改修）は適さない。

以上のことから、鉄筋コンクリート造の倉庫については、長寿命化工事ができるため、「改修」とし、それ以外の施設については、長寿命化工事ができないため、「建替え」とする。

なお、既存施設の一室を利用している倉庫については、当該施設の取扱いに左右されるため、当該施設の取扱いに合わせて対応する。

また、令和2年度に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を強化するため、物資等を大量に増強し、現状の防災備蓄倉庫のスペースでは、すでに保管できない状況となっている。

さらに、令和元年房総半島台風等の一連の風水害対応における教訓や、更なる災害対応力の強化を図るためには、「必要な場所に」、「必要な備品等を」、「必要な量」、備蓄しておく必要がある。

このようなことから、防災備蓄倉庫を新規に設置する場合は50㎡程度のスペースの確保に努め、コンテナ式防災備蓄倉庫を増設する場合は、2個分程度（約20㎡）のスペースを確保するよう設置する。また、開設する可能性が高い第1避難所・第2避難所の未設置箇所及び1個設置箇所を優先的に整備する。

なお、施設内の空いている部屋やスペース等を倉庫として運用している場合は、避難所担当者の安全管理と、より迅速・円滑な避難所開設・運営を目指し、敷地内への防災備蓄倉庫の設置を検討する。

3 改修の方針

防災備蓄倉庫は、防災対策上、必要不可欠なものであることから、長寿命化工事が可能な施設については、総合管理計画の基本原則である「市民の安全の確保を優先」の考え方にに基づき、施設の長寿命化を図る。

目標とする使用年数は60年を標準とし、今後も安全に資産として活かすことを念頭に、損傷が軽微な段階で予防的な修繕を行うとともに計画的な大規模改修を行うことで、減価償却資産の耐用年数等に関する省令における法定耐用年数（鉄筋コンクリート造50年）を超えて延伸させることとする。

さらに、築50年前後を迎える時期を目途に、躯体等の健全性が確保できることを前提として、最大80年までの使用に向けた検討を行う。

なお、対策内容と実施時期の判断にあたっては、日常及び定期の点検結果を基に、利用者の安全・衛生に関わる指摘事項について最優先に改善を図るとともに、施設の長寿命化に必要な改修を実施する。

なお、整理番号212・221・224・226については、施設全体の取扱いに合わせて対応する。

また、その他の長寿命化工事が適さない施設については、老朽化や災害による損傷の状況等に応じて判断する。

第6章 防災備蓄倉庫の事業化の見込み

1 事業化の見込み

総合管理計画では、大規模改修、建替えの費用を推計したが、より精度を高めるため、本計画では、中規模改修、除却費なども計上するほか、構造や築年数によって各施設の目標使用年数等を考慮し、事業の見込みとする。

なお、この事業の見込みは、あくまでも現時点でのものであり、実際の対策費用とは異なる可能性があるため、今後の整備計画や本計画の見直しに合わせて精査していくこととする。

また、全体の期間は、令和3年度から総合管理計画の計画期間である令和28年度までとし、それを第1期から第3期までの3期に区分する。

整理番号	施設名	第1期 (～R12)	第2期 (～R20)	第3期 (～R28)
191	防災備蓄倉庫 (久留里スポーツ広場敷地内)	改修	改修	
192	防災備蓄倉庫 (大和田小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
193	防災備蓄倉庫 (北子安小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
194	防災備蓄倉庫 (外箕輪小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
195	防災備蓄倉庫 (周南小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
196	防災備蓄倉庫 (小糸小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
197	防災備蓄倉庫 (南子安小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
198	防災備蓄倉庫 (貞元小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
199	防災備蓄倉庫 (久留里小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
200	防災備蓄倉庫 (南子安保育園敷地内)		期間外 (建替え)	

整理番号	施設名	第1期 (～R12)	第2期 (～R20)	第3期 (～R28)
201	防災備蓄倉庫 (小櫃小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
202	防災備蓄倉庫 (松丘小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
203	防災備蓄倉庫 (秋元小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
204	防災備蓄倉庫 (塚田公園敷地内)		期間外 (建替え)	
205	防災備蓄倉庫 (亀山中学校敷地内)		期間外 (建替え)	
206	防災備蓄倉庫 (八重原中学校敷地内)		期間外 (建替え)	
207	防災備蓄倉庫 (旧蔵玉小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
208	防災備蓄倉庫 (三島小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
209	防災備蓄倉庫 (君津中央公園敷地内)	改修		
210	防災備蓄倉庫 (周西小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
211	防災備蓄倉庫 (鹿野山自治会館敷地内)		期間外 (建替え)	
212	防災備蓄倉庫 (生涯学習交流センター内)	施設全体の方向性に準ずる		
213	防災備蓄倉庫 (小櫃中学校敷地内)		期間外 (建替え)	
214	防災備蓄倉庫 (八重原小学校敷地内)		期間外 (建替え)	
215	防災備蓄倉庫 (中小学校敷地外)		期間外 (建替え)	
216	防災備蓄倉庫 (周西中学校敷地内)		期間外 (建替え)	
217	防災備蓄倉庫 (小系中学校敷地内)		期間外 (建替え)	

整理 番号	施設名	第1期 (～R12)	第2期 (～R20)	第3期 (～R28)
218	防災備蓄倉庫 (周南中学校敷地内)		期間外 (建替え)	
219	防災備蓄倉庫 (周南中学校敷地内)		期間外 (建替え)	
220	防災備蓄倉庫 (周西公民館敷地内)		期間外 (建替え)	
221	防災備蓄倉庫 (清和中学校内)	施設全体の方向性に準ずる		
222	防災備蓄倉庫 (周南公民館敷地内)		期間外 (建替え)	
223	防災備蓄倉庫 (小糸公民館敷地内)		期間外 (建替え)	
224	防災備蓄倉庫 (旧香木原小学校体育館内)	施設全体の方向性に準ずる		
225	防災備蓄倉庫 (小櫃公民館敷地内)		期間外 (建替え)	
226	防災備蓄倉庫 (市民体育館建物内)	施設全体の方向性に準ずる		
227	防災備蓄倉庫 (神門公園敷地内)		改修	
概算(千円)		32,256	32,400	—

※実施スケジュールについては、施設の老朽度などのハード面の状況と、財政フレームに合わせた財政負担のバランスが重要となるため、一定の基準に基づいて、平準化する必要がある。

そのため、今後の詳細なスケジュールは、総合計画の中で、どの施設から整備を進めていくかを明確化することとし、具体的な整備計画として、実施の時期を総合計画に定めていく。

第7章 個別施設計画の推進

1 推進体制等

(1) 推進体制

個別施設計画を継続的に運用していくため、危機管理課を中心にファシリティマネジメント部門や企画（まちづくり）部門、建設部門等と連携を図るとともに、総合計画に反映し、全庁的な体制により計画の推進を図る。

(2) フォローアップ

施設改修等の実施にあたっては、庁内の合意形成を図り、総合計画において事業化を進め、予算化する。

また、事業の進捗状況や施設の点検結果等を反映するなど、定期的なフォローアップを実施し、必要に応じて計画の見直しを図るものとする。

(3) 今後の課題

本市においては、昭和55年以前に建築した施設の割合が多く、改築となる建物が増加する予定であるが、近年、老朽化による施設の改築事業の実績がなく、財政計画において予算化されていなかったため、改築事業の実施にあたっては予算の確保が大きな課題となる。

今後、老朽化した施設の更新は避けられないことから、中長期的な公共施設マネジメントについて全庁的な検討を行うとともに、継続的な維持管理を行う必要がある。